

アンケートの意見から 2020年32週  
やさいニュースでは皆さんにアンケートでのご協力をお願いしています。お届けした野菜の品質の良し悪しの評価と苦情は生産者に返します。やさいBOXへの意見、苦情は、この紙面で紹介していきます。皆さんの意見を元に生産者共々、より満足していただけるやさいBOXを目指します。

◆恵みの雨のはずなのに、毎年の災害に胸が痛みます。お野菜も雨が降りすぎると、すぎたるは及ばざるごとしでしょうか。野菜もまだ端境期？脱却が待ち遠しいです。お野菜たっぷり食べたい。さつまいもは切ってふかしました。さらに油で焼きました。ほくほく美味しかったです。ゴーヤもズッキーニも薄くスライスしてサラダにして食べました。生野菜が食べたかったので。 茨木分け合いセット

◆キュウリも味があるんだなーと初めて実感できました。安心してバリバリいただけます。ゴーヤはワタもタネも全部いただきました。大雨が心配ですが、厳しい暑さの中作業するので体調に気をつけて下さい。茨木スタンダードセット

◆さつまいも規格外の取り組み、大きくて立派な芋にびっくりしました。半分を煮て美味しくいただきました。砂糖を少し加えましたが芋本来の甘さで美味しかったです。コロナ感染症の影響が色々なところで出ているのを感じました。行き場をなくした40tのうちのどのくらいが引き取られたのかな～。 門真分け合いセット

◆新鮮なお野菜ありがとうございます。きゅうりはおつけものと酢の物に、大葉はおそうめんやタラスパやサラダにと使いました。大きなさつまいも、天ぷらやおみそ汁にも。ほくほく甘くておいしかったです。 エル西ミニセット

## ～お知らせ～

これまでお知らせしている様に、これまでの天候不順により野菜が全国的な不作となっています。長雨と日照不足による生育不足の影響は深刻で、梅雨が明けてお天気が回復しても収穫量の回復は望めない状況です。生産者としても“出荷量減”は“収入減”となり、種や肥料、人件費を先行投資している事を考えれば深刻な状況と言えます。私たち組合員にとっても、届く野菜が少なければ誰がどう作ったのか分からない高い野菜を買いに行かなければならないという事になります。

この様な状況を踏まえ、やさいBOXでは、生産者が少しでも多くの野菜を出荷できる様に、組合員が少しでも多くの野菜を手に入れられる様に以下の対応を行います。ご理解とご協力をお願いします。

### ①規格重量や入数を小さくする事で出荷単位を増やします。

- 本来の規格を見直す事で、出荷できる量が増える品目があります。また、収穫量は変わらなくとも、入数を変更する事で出荷単位を増やす事ができる品目があります。

例：なすび 500g → 350g、ゴーヤ1本 250g → 220g 大葉 10枚 → 8枚

### ②規格を緩くすることで出荷量を増やします。

- 傷や変形（曲がり）について、いつもより規格を緩める事で、出荷量が増える品目があります。ただし、食べるのに支障をきたす傷みや、味に影響をおよぼす変形等は含みません。

例：キュウリの曲がりや傷、なすの擦れ傷 など

### ③お届けサイクルを調整します。

- 品目別にお届けするサイクルを設定しています。一般的によく使われる品目は短いサイクルで、珍しい品目や大物野菜は長いサイクルという風にです。このサイクルをこれまでより若干調整することで出荷量が増える品目があります。

ただし、調整をする頻度は限られます。

例：ゴーヤ8週間に1度 → 6週間に1度、米ナス3週間に1度 → 2週間に1度

やさいBOXは、「栽培期間中は化学合成農薬、化学肥料は不使用で作られた野菜」のおまかせセットです。産地の旬に合わせた野菜をお届けしています。